



かしこく
やさしく
すこやかに

学校だより



花 園 小
R6, 7, 17
文責 河野

地域の方々に支えられ…(1)

花園小学校は、平成26年度からコミュニティスクールとして、地域の方々のご協力を得ながら教育活動が展開されています。地域に住まわれている方々が学校運営に参画することで、学校と地域の連携・協働体制が組織的そして継続的となり、「地域とともにある学校づくり」や「課題解決に向けた取り組み」を効果的に進めることが期待できます。

右は、6月25日(火)に開催された学校運営協議会の様子です。学校の経営方針やさまざまな教育活動について協議がなされました。また、地域学校協働活動については、「たまねぎ収穫」「じゃがいも収穫」「さつまいも苗植え」など、地域の方々に支えていただいている活動が多くあります。以下、いくつか紹介します。



読み聞かせボランティア「赤い鳥」

コロナ禍で中止されていた読み聞かせが、昨年度から再開されています。再開時のメンバーは、岩本さん、稲臣さん、那須さんでしたが、現在はメンバーが9人に増え、月1回のペースで実施していただいています。毎回、子供たちはとても楽しみにしていて、当日は熱心に聴き入る姿が見られています。



地蔵祭り造りものに向けて

本年度は、例年8月23日、24日に開催されている宇土地蔵祭りの造りものに、6年生の子供たちが出展したいという要望があり、先日、祭りの実行委員会である商工会の方に造り方を教わる機会がありました。各学級、自分たちで計画し、進めているようです。どんな作品ができあがるか楽しみです。



楽しいクラブ活動

月1回、4年生以上の学年はクラブ活動を行います。本年度は、14のクラブがあり、子供たちは、思い思いに楽しんでいます。右の写真は、生け花クラブの作品です。季節の花を使った生け花に取り組み、日本の伝統文化に親しんでいます。花園校区にお住まいの野口さんに指導していただいています。



さつまいも苗植え

6月中旬に1年生が学校の畑にさつまいもの苗を植えました。地域学校協働活動でお世話になっている指導員の村先生をはじめ、昨年同様、地域的那須さんに苗をいただきました。さつまいものでき方も教わり、大きないもがとれるように願いを込めて植えました。



「これって何ですか？」授業参観時に廊下でよく質問されました。各学年棟の階段に貼ってあります。「てんもうかいがい そにして うしなわず(もらさず)」と読みます。年度当初に体育館で、その意味については、話しました。「天に張りめぐらされた網は目が粗く見えるが、悪いことをした人は、一人も漏らさない」ということを表すことわざです。子供たちの生活を見てみると、先のことを考えない行動やバレなければ大丈夫という考えから、他人に迷惑をかける行為が残念ながら度々あります。地域での自転車のりも、再三指導をしますが、なかなか改善しないのが現状です。そのうち事故に遭わないかと心配です。しかしそのような反面、誰も見ていなくても乱れていたトイレのスリッパを進んで並べる思いやりのある子供もいます。自分のした行為はそのうち自分に返ってきます。「情けは人のためならず」とも言います。

いよいよ夏休みを迎えます。しっかりと善悪の判断を行い、責任ある行動をとってほしいと思います。

天網恢々疎而不失